

東北地方 1 か月予報

(9月20日から10月19日までの天候見通し)

平成20年9月19日
仙台管区气象台発表

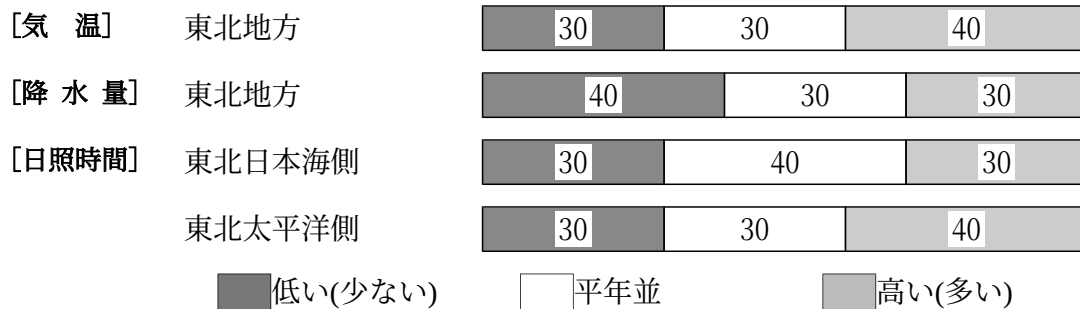
<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり低くなる時期があり、気温の変動が大きい見込みです。
農作物の管理等に注意してください。

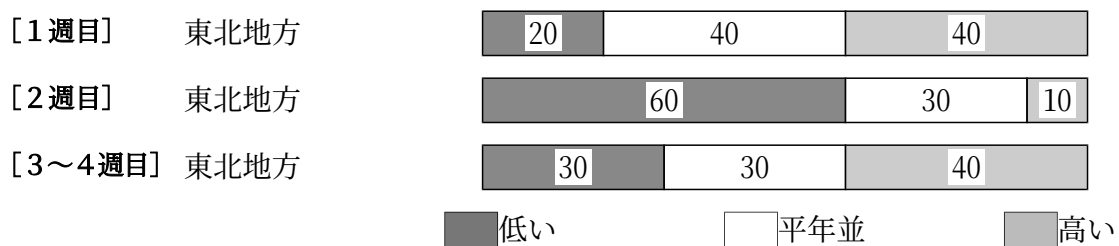
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の前半は気温がかなり低くなる時期があり、気温の変動が大きい見込みです。
週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は低い確率が60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月20日(土)~10月19日(日)
1週目 : 9月20日(土)~9月26日(金)
2週目 : 9月27日(土)~10月3日(金)
3~4週目 : 10月4日(土)~10月17日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は9月26日
3か月予報: 9月25日(木) 14時
寒候期予報: 9月25日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	15.0	96.2	157.9	17.5	16.0	13.6
深浦	15.6	157.8	145.3	17.8	16.5	14.3
むつ	14.5	130.3	158.5	16.7	15.5	13.2
八戸	15.0	94.6	155.5	17.4	16.0	13.8
秋田	16.0	146.1	152.0	18.4	17.0	14.6
盛岡	14.2	101.1	141.5	16.8	15.3	12.9
大船渡	15.9	169.0	135.0	18.0	16.8	14.7
宮古	15.2	156.4	142.1	17.4	16.1	14.1
仙台	17.0	148.8	135.2	19.1	17.9	15.8
石巻	16.4	128.2	144.6	18.6	17.3	15.2
山形	15.6	89.4	125.2	18.1	16.7	14.3
新庄	14.9	135.3	106.7	17.4	15.9	13.5
酒田	16.9	160.1	145.0	19.1	17.8	15.7
福島	17.0	127.3	124.3	19.3	18.0	15.8
若松	15.8	91.5	115.1	18.3	16.8	14.4
白河	15.4	146.7	122.8	17.6	16.3	14.2
小名浜	18.1	184.8	135.7	20.0	18.9	17.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.2	78～110	94～107
東北日本海側	-0.6～+0.2	81～115	94～107
東北太平洋側	-0.5～+0.2	75～112	94～108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.5～+0.4	-0.6～+0.5	-0.5～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.6～+0.5	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.5～+0.4	-0.5～+0.5	-0.5～+0.5

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 9 月 19 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (9 月 20 日～10 月 19 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。

期間の前半は気温がかなり低くなる時期があり、気温の変動が大きい見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (9 月 20 日～9 月 26 日) :

期間のはじめは、台風や気圧の谷の影響で曇りや雨の日があるでしょう。その後は高気圧におおわれておおむね晴れますが、期間の中頃と終わりは気圧の谷の影響で曇るところがある見込みです。

なお、20 日は東北太平洋側南部を中心に台風第 13 号の影響で大雨となるおそれがあります。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40% です。

2 週目 (9 月 27 日～10 月 3 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の前半を中心に寒気の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低い確率が 60% です。

3～4 週目 (10 月 4 日～10 月 17 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。

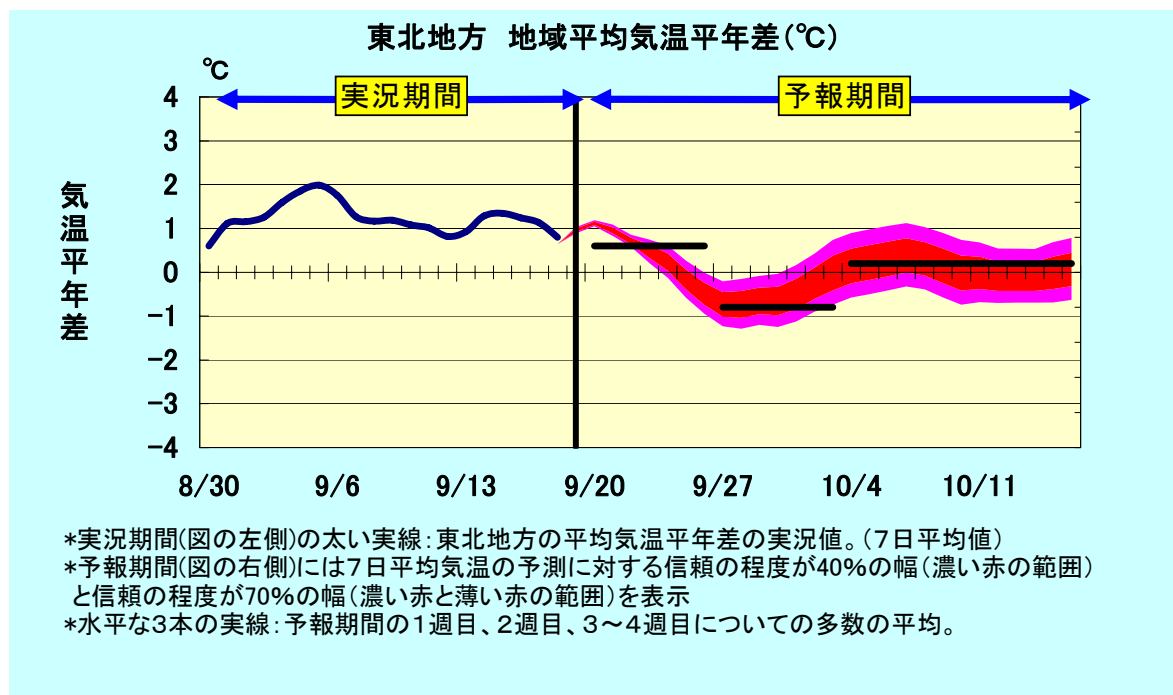
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.7 日	3.4 日	3.6 日	6.7 日
東北太平洋側	14.7 日	3.4 日	3.7 日	7.6 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は高く、2 週目は低く、3～4 週目はやや高めの前予想となっている。予報は、その他の資料から、1 週目を平年並か高めに考える。

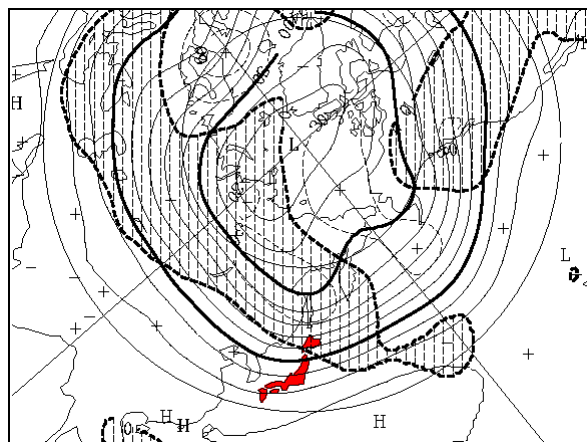


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

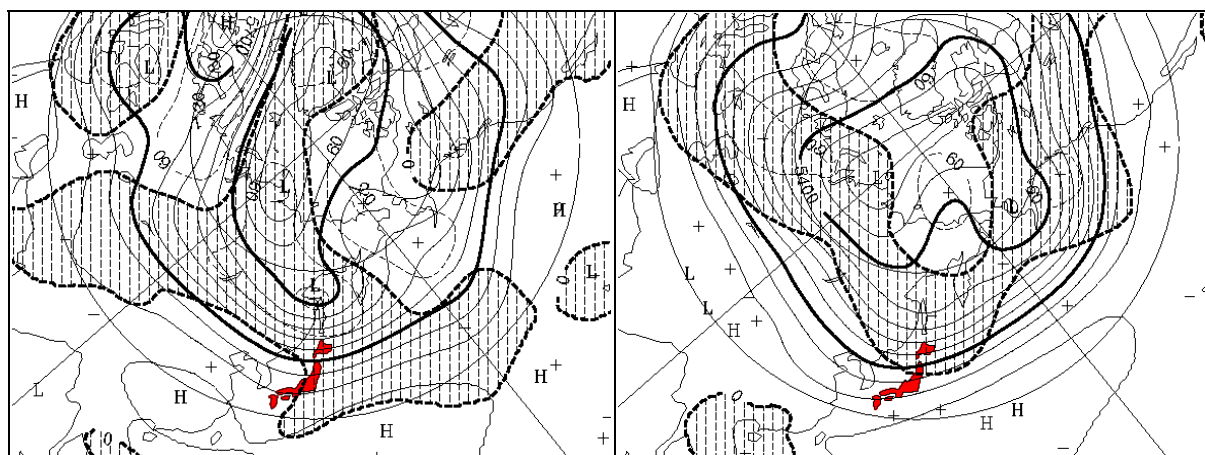
1か月平均: 中央シベリア付近から北海道付近まで負偏差で、一時寒気の南下も見込まれるが、本州以南の中緯度帯は広く正偏差で、気温は高めが予想される。

1週目: 中央シベリアから日本の東海上まで広く負偏差。日本の北には強めの負偏差があり期間の終わり頃には寒気の南下が見込まれるが、東北北部を中心に高気圧におおわれて気温は平年並か高めが予想される。

2週目: 中央アジアから東日本までの中緯度帯は広く正偏差となるが、北日本には負偏差がかかる。期間の前半を中心に寒気の南下が見込まれ、気温は低めが予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

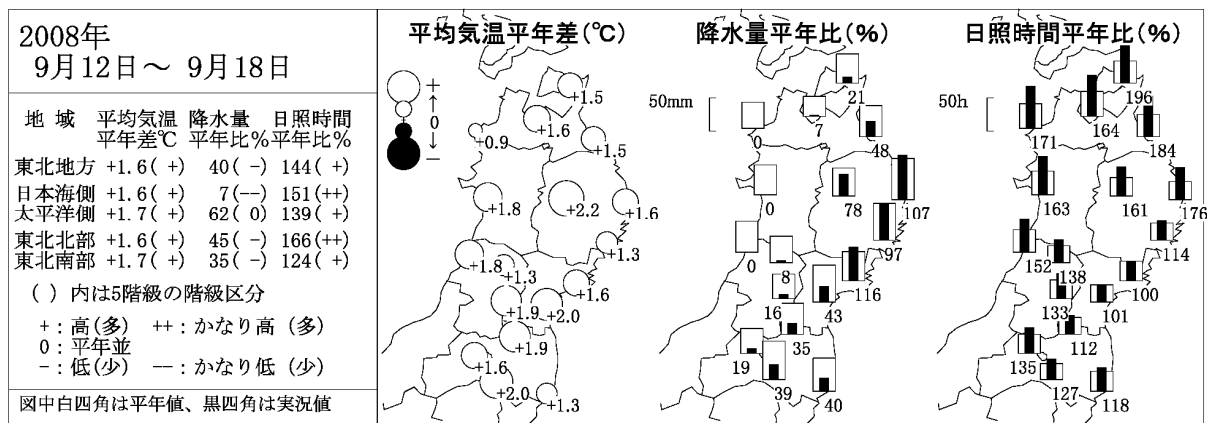
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（9月12日～9月18日）の天候の経過

この期間、期間のはじめには低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあったが、その後は、移動性高気圧におおわれて晴れの日が多かった。12日には三陸沖を熱帯低気圧が北上したため、東北太平洋側を中心に雨となり、岩手県では大雨による浸水害や山がけ崩れ害などが発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）